

長期介護保険制度の進捗

新年明けましておめでとうございます。お陰様で当社は上海へ進出して6年目を迎える事が出来ました。改めて厚く御礼申し上げます。

し、アセスメントを経て約1万4000人の高齢者が介護保険を利用する事が出来ました。

さて、今年第一弾は上海市における長期介護保険制度の進捗状況をお伝えします。上海市の60歳以上の戸籍人口は、16年12月末時点で市全体人口の31.6%を占め、20年までは540万人に達すると予測されています。

また上海人力資源と社会保障局医薬監督所によると、現在全市で保険利用の申込み施設が587カ所あります。それに対しサービス提供可能なヘルパーは約4万人存在します。このような状況であれば、需要を満たす事が出来るとの判断から、今年度は全市で300万人の高齢者にサービスを提供することが目標とされています。

上海市徐汇、普陀、金山の三区で実施された長期介護保険制度の試行からちょうど1年が経ちました。昨年10月末までの集計によると、三区で合計2万5000人が申請

上海医療保険センターによると、現在上海市



サービスの均等化 課題

各区に計27カ所の評価(アセスメント)

施設がありま
す。資格を有
する評価委員
は1万人以上
いるので、事
務体制も十分
に整っている
ようです。

アセスメン
トは1回一律
200円で受
けられ、結果は約1カ月
で出ます。しかしながら、
現時点での介護保険財源
は都市戸籍を持つ者を対
象とした都市従業員基本
医療保険からの拠出で、
対象者は当該保険加入者
のみとなっており、利用
したくても出来ない人も
数多く存在しています。

サービスを提供出来るよう
にするためには、社会保
障制度を含め、様々な整
備が今後の課題になると
思います。今後はその辺
りに注目していきたいと
思っています。

それでは本年も引き続
き宜しくお願ひ申し上げ
ます。



中国の高齢者マーケット

～介護・不動産事業の行方～



ゲストハウス総経理
稲田義人

著者プロフィール
ゲストハウス総経理。中国事業に携
わって7年、介護職員養成学校の立
ち上げや日本式介護研修の実施、ま
た、日系介護企業を集めての上海シ
ニア産業フェアの主催等、上海シ
ニア事業全てを総指揮。